

中央アルプス国定公園保護・利用推進宣言

中央アルプス国定公園は木曾山脈のほぼ全域にまたがり、北部の茶臼山から木曾駒ヶ岳、宝剣岳、空木岳、摺古木山等を経て、南部の大平峠、風越山に至る主脈一体とその飛地からなります。

木曾駒ヶ岳の南側には、国内有数の氷河地形であるカール（圏谷）、モレーン（堆積堤）、氷河湖等が存在するとともに、木曾谷周辺は、木曾川の水流により侵食されてできた溪谷地形や多数の滝が分布しています。

また、中央アルプスの固有種であるコマウスユキソウなどの高山植物や高山チョウのクモマベニヒカゲなど、希少な動植物が生息しています。

これら傑出性の高い自然の風景地が広がっていることや生態系等が評価され、全国で57番目の国定公園として令和2年3月27日に指定されました。

中央アルプス国立公園の指定は、多くの自然公園利用者や県民が、自然景観や歴史・文化などの中央アルプスの持つ魅力や重要性について理解を深めるとともに、豊かな自然環境を再認識する絶好の機会となります。

よって、県と関係市町村で構成する中央アルプス国立公園指定記念事業実行委員会は、中央アルプスの持つ魅力を広く発信し、優れた自然環境や風景地の保護と持続可能な利用の推進を図るとともに、次世代に引き継ぐことをここに宣言します。

令和2年7月28日(火)

中央アルプス国立公園指定記念事業実行委員会

会 長	駒ヶ根市長	伊藤 祐三		
副会長	宮田村長	小田切 康彦		
顧 問	長野県知事	阿部 守一		
委 員	伊那市長	白鳥 孝	木曾町長	原 久仁男
	箕輪町長	白鳥 政徳	大桑村長	貴舟 豊
	飯島町長	下平 洋一	塩尻市長	小口 利幸
	飯田市長	牧野 光朗	長野県環境部長	猿田 吉秀
	松川町長	宮下 智博	長野県観光部長	中村 正人
	高森町長	壬生 照玄	上伊那地域振興局長	佐藤 公俊
	阿智村長	熊谷 秀樹	南信州地域振興局長	丹羽 克寿
	上松町長	大屋 誠	木曾地域振興局長	中坪 成海
	南木曾町長	向井 裕明	松本地域振興局長	草間 康晴



中央アルプス国立公園
CHUO ALPS QUASI-NATIONAL PARK